

平成23年度 冬のエコスタイルチャレンジ 項目ごとの「具体的取り組み内容」

1 電気使用量の節減
・節電の啓蒙
・ホームページへ掲示
・夏季同様節電担当者を決め電気使用量の節減に努める
・無駄エネZERO(省エネ)委員会による活動 月一回の推進委員会にて状況報告
・各出口に「最後の人は消しましょう」の掲示
・毎月チェック(使用量)
・総務が中心となり、声かけ点検する。
・自家発電装置稼働
・電力消費量のデマンド監視、ピークカット
・インバーター式コンプレッサー導入による電気使用量の削減
・太陽光発電 導入
・ノー残業デーの徹底
・こまめなスイッチOFF
・昼休みの消灯、照明の間引き
・スイッチ責任者を決めて不要な電気の管理を行う
・LED照明の採用
・残業時の照明の分割使用
・電源からコンセントを抜く
・廊下の照明減
・OA機器の省エネモードの設定を行う
・パソコンの照度を下げる
・未使用のOA機器は電源をOFFにしておく
・パソコンの離席時の電源オフ
・コピー及びプリントの必要枚数印刷の厳守
・節電の貼り紙をプリンタ、PC等に貼る
・エレベーター使用の自粛
・エアコンはGHP使用
・暖房の使用時間、設定温度に注意する。
・未使用な会議室等の暖房停止
・空調ユニットの省エネ用Vベルト採用
・デマンド監視装置による空調機、暖房ストーブの節電
・空調機と灯油ストーブとの併用
・電気ヒータースイッチONの再検討
・事務所棟小部屋に石油ファンヒーター設置
・加湿器を用い湿度を上げる。極度の乾燥を抑える
・廊下等エントランスのエアコン停止
・生産工程及び作業改善による設備使用電力の削減
・製造機器類のタイマー運転
・複数大型設備の輪番稼働を実施
・加熱装置の連続運転推進による生産t当たり電気使用量の削減
・工作機械不使用時の電源遮断
・機械稼働時間に合わせた入り切をする。
・暖房期間中11-15時の間、エアコンの停止を実施する。
・お客様来店時に合わせたショールームの暖房のON・OFF。夜間は早めにOFFして余熱を活用
・開店と同時に照明点灯、閉店時間を過ぎたら、可能な範囲で消灯する。
・ロードサインの早目消灯
・工場の窓に断熱材を貼った
・電気ポットを使用しない
・電子レンジを使用しない
・電気ポットの、暖房時・朝の一斉使用は避ける。
・1日の使用量を把握し、電気ポットで湯沸しするなら昼休み時間を活用する。
・冷凍冷蔵庫の開放厳禁
・大型冷蔵庫の電源OFF
・トイレの便座ヒーター温度の低温レンジ使用
・ジェットタオルの停止
「便座カバー」を付け、出来れば通電OFF。フタは閉める。
・トイレパネルヒーターの停止
・自販機の夜間運転停止
・自動販売機の照明消灯